

図書館だより

第51号

文学賞とは

優れた文学作品・文学者に与える賞です。日本では芥川賞、直木賞が有名ですが、他にも出版社や、新聞社、自治体などが独自に創設した文学賞が数多くあります。

図書館員が選んだ受賞作品 ベスト3

山田風太郎賞 (2014年度 第5回)



『二千七百の夏と冬 上・下』

萩原浩／著 双葉社 2014.6

関東のあるダムの工事現場で縄文人と弥生人の男女の人骨が発見された。その人骨は手を握り合っていた。新聞記者の佐藤はその人骨の謎を調べ始めた……。

本屋が選ぶ時代小説大賞 (2016年度 第6回)



『室町無頼』

垣根涼介／著 新潮社 2016.8

室町時代、ならず者の頭目・骨皮道賢は権力側に入り込み、浮浪の首魁・蓮田兵衛はひろった小僧を兵法者に仕立てようとしていた。二人の密かな野望が動乱の都を走りはじめていた。

鮎川哲也賞受賞 (2018年度 第28回)



『探偵は教室にいない』

川澄浩平／著 東京創元社 2018.10

北海道に住む中学生、真史はとある事件から9年ぶりに幼馴染の歩と再会する。2人は協力して日常の謎を解決していく。4つの物語で綴る爽やかな青春ミステリー。

様々な文学賞

どんな文学賞をご存じですか。おもな文学賞と最近の受賞作品を紹介します。

文学賞名	発表時期	最近の受賞作品
芥川賞（正式名称：芥川龍之介賞）	7月、1月	『ニムロッド』 上田岳弘／著 講談社
直木賞（正式名称：直木三十五賞）	7月、1月	『銀河鉄道の父』 門井慶喜／著 講談社
角川春樹小説賞	6月	『ブラックシープ・キーパー』 柿本みづほ／著 角川春樹事務所
吉川英治文学賞	3月	『守教（上・下）』 帚木蓬生／著 新潮社
群像新人文学賞	5月	『美しい顔』 北条裕子／著 講談社
小学館文庫小説賞	5月	『ほどなく、お別れです』 長月天音／著 小学館
小説現代長編新人賞	7月	『スイート・マイホーム』 神津凜子／著 講談社
新潮ミステリー大賞	7月	『名もなき星の哀歌』 結城真一郎／著 新潮社
新潮新人賞	10月	『百年泥』 石井遊佳／著 新潮社
すばる文学賞	10月	『わるもん』 須賀ケイ／著 集英社
太宰治賞	5月	『リトルガールズ』 錦見映理子／著 筑摩書房
日経小説大賞	12月	『狂歌』 佐伯琴子／著 日本経済新聞出版社
日本ファンタジーノベル大賞	11月	『鬼憑き十兵衛』 大塚已愛／著 新潮社
本のサナギ賞	7月	『滔々と紅』 志坂圭／著 ディスカ ヴァー・トゥエンティワン
野間文芸賞	11月	『草薙の剣』 橋本治／著 新潮社
松本清張賞	5月	『天地に燦たり』 川越宗一／著 文藝春秋
山本周五郎賞	5月	『ゲームの王国 上・下』 小川哲／著 早川書房

編集後記：文学賞はこの他にもたくさんあり、図書館の検索機で文学賞名を検索すると受賞作が分かりますので是非ご利用ください。

また、青色利用券をお持ちの方は予約して、近隣の八千代市立図書館で受け取ることができます。

令和元年 11月

発行：八千代市立図書館

編集：緑が丘図書館